

プレスリリース

ローザースバーグ,スウェーデン,2025年1月14日

スチールリスト、掘削機の効率化に20年貢献

スチールリストは **2005** 年にスウェーデンで設立され、最初はストックホルム北部のガレージにショッ
プを構えました。それ以来、当社は小さな新興企業から今日の世界的リーダーへと成長し、過去 **20**
年間にわたり世界中の何千もの顧客に製品を提供してきました。設立当初から重点を置いているの
は、油圧ショベルの効率を高めるチルトローテーター、クイックカップラ、ワークツールの開発、製造、
販売です。**2025** 年は スチールリスト にとって創業 **20** 周年の節目の年であり、いくつかの重要な製
品ニュースの発表とともに、年間を通じてそのことが強調される予定です。

なぜチルトローテータなのか？

チルトローテーターは、油圧ショベルの効率を真に高める鍵であることが証明されており、スチールリ
ストの製品群の中心的存在です。チルトローテーターは、制限のない回転と両方向への 45 度のチ
ルト機能を備えているため、オペレーターはより多くの種類の作業をより速く、より正確に行うことが
できます。

油圧ショベルのオペレーターに意見を聞くと、彼らは決してチルトローテーターなしの作業には戻らな
いと言うでしょう。実際、スチールリストの 20 年の歴史の中で、チルトローテーターを採用した後、そ
れなしの油圧ショベルに戻った顧客は 1 社も知りません。

油圧ショベルを真のツールキャリアに変えることにより、作業現場の効率と安全性が大幅に向上しま
す。コストを削減し、より多くの種類の作業をキャビンから直接完了できるようにすることで、手元作
業員の必要性が減り、操作がよりスムーズかつ安全になります。油圧ショベルの移動が少なくなると、
時間の節約、燃料消費量の削減、機械の摩耗の低減、安全性のさらなる向上が実現します。これ
は、あらゆるオペレーターにとって魅力的な利点です。

チルトローテータ技術の継続的な開発と新市場への拡大

チルトローテータのコンセプトは、世界で最も先進的な油圧ショベル市場として広く認識されている北
欧地域に深く根付いており、施工業者やオペレーターは最先端の製品や技術を採用し、投資するこ
とに非常に積極的です。チルトローテーターメーカーは、このイノベーション主導型市場の中心に位
置し、製品開発を促進し健全な競争を促進するダイナミックな環境で繁栄しています。

スチールリストは 2006 年に最初のチルトローテーター X18 を発表し、初期の数年間で重要な北欧
諸国と英国への販売組織を拡大しました。2011 年に当社が世界初の完全鋳鋼製チルトローテ
ーターである小型掘削機用 X07 モデルを発売し、真のマイルストーンが達成されました。鋳鋼部品に
より重量を最小限に抑えながら強度を高めることが可能となり、それ以来、高張力鋳鋼の使用は連



結器とチルトローテーターの設計の基礎となっています。

安全性は常に スチールリストにとって中心的な焦点です。2012 年、当社は特許取得済みのフロントピン ロックをカプラに導入して業界の先駆者となり、運用上の安全性の新たな基準を確立しました。現在、スチールリスト は、重量 1.5 トンから 33 トンまでの掘削機に対応する包括的なチルトローテーター製品を提供しています。

第3世代のチルトローテーターを発売、北米で成長し、アジアに進出

2024年には第3世代のチルトローテーターが発売され、いくつかの新しい主要機能が導入され、チルトローテーター技術に大きな進歩がもたらされました。スチールリスト の第 3 世代チルトローテーター ラインナップの最初のモデルである XTR20 は、上部カプラ、ギアボックス、チルトローテーターの下下部カプラなど、全体に鋳鋼部品を採用しています。スチールリストの定評あるチルトジオメトリを基盤とする XTR20 は、オペレーターにさらにスムーズで洗練されたユーザーエクスペリエンスを提供します。また、自動給脂用の内蔵オンボードシステムである OptiLube(オプティループ) の導入により、メンテナンスと給脂が大幅に容易になり、一貫した最適なパフォーマンスが保証されます。

安全性の面では、新世代は油圧ショベルの安全なワークツール交換ソリューションにおいて大きな進歩を遂げています。XTR20 には、スチールリストの特許取得済みワイヤレス LockSense(ロックセンス) テクノロジーが搭載されています。これは、結合時にワークツールが確実にロックされているかどうかをリアルタイムで確認できる最先端のセンサーベースのシステムです。

スチールリストはヨーロッパで強力なプレゼンスを確立し、2017 年に北米市場に進出し、そこではチルトローテーターのコンセプトが大きな注目を集めています。急速に増加する需要に対応するため、スチールリストは 2024 年にコネチカット州ニューイントンにあるより大規模な施設に移転しました。一方、効率性と生産性のメリットがますます明らかになるにつれ、アジア太平洋地域ではチルトローテーターへの関心が着実に高まっています。

展示会への参加は、チルトローテーターのコンセプトがまだ広く普及していない市場でそのコンセプトを推進する上で、スチールリストにとってこれまでも、そしてこれからも非常に重要なことです。これらのイベントは、ライブデモンストレーションを通じてチルトローテーターの機能を披露するのに最適なプラットフォームを提供します。2024年、スチールリストは世界中で数多くの展示会に参加する忙しいスケジュールをこなし、上海のBauma Chinaで年末のフィナーレを成功に終わりました。

スチールリスト製品ポートフォリオの開発に携わった 20 年間、当社は常に業界の最前線に立ってきました。当社のイノベーションにより、油圧ショベルオペレーターにとってより安全で生産性の高い製品が誕生しました。ハードウェアとソフトウェアの両方に重点を置くことで、チルトローテーターを油圧ショベルの一部へと統合しました。「最新の開発成果を発表しながら、2025年を自信を持って楽しみにしています」と、スチールリストのCTO兼共同創設者であるMarkus Nilsson(マーカス・ニールソン)は述べています。

自動カブラの世界的な業界標準を確立するための継続的な取り組み

新しいチルトローテーターは、他のすべてのスチールリスト製品と同様に、国際的に最も急速に成長している標準である対称標準 (S 標準) に準拠したインターフェースで利用できます。モジュール設計により、製品を S タイプから SQ タイプのインターフェースに簡単にアップグレードできます。

2017 年に導入された スチールリストの SQ テクノロジーにより、オペレーターはキャビンを離れることなく、わずか数秒で油圧駆動のワークツールを交換することができます。この高性能な自動オイル接続技術は、最小限の背圧で優れた流量を提供するため、業界全体で最も要求の厳しい油圧ワークツールやアプリケーションにも最適です。

SQ 製品の開発過程で、自動クイックカブラ用のオープンインターフェースを提供するというアイデアが生まれました。独自のソリューションを回避する利点は明らかです。顧客が単一のメーカーのシステムに縛られることがなくなります。このビジョンは、スチールリストと ロットチルト が、油圧ショベル用自動カブラの世界的な業界標準の開発に特化した独立組織である Open-S Alliance を設立した 2020 年末に現実のものとなりました。目標は、油圧ショベルオペレーターと施工業者に、標準に準拠するさまざまなメーカーのクイックカブラ、チルトローテーター、ワークツールを自由に組み合わせられるようにすることです。現在、この組織にはアタッチメントメーカーと世界的な OEM を含む 14 社のメンバーがいます。スチールリスト SQ 製品はすべて、油圧ショベルの自動カブラの Open-S 規格に準拠しています。

Open-S は、施工業者と油圧ショベルオペレーターにメリットをもたらすことを目的としています。この規格の目標は、機能、安全機能、保証を失うことなく、さまざまなブランドの製品を自由に選択して組み合わせることができ、オプションを制限する独自のソリューションに縛られないことです。「このアイデアがきっかけで、私たちは5年前に国際的かつオープンな業界標準の構築に着手しました」と、スチールリスト ABのCEOであり、Open-S Allianceの理事であるStefan Stockhaus(ステファン・ストックハウス)氏は語ります。

2025年 - エキサイティングな一年

過去 20 年間にわたり、スチールリストは製品ポートフォリオ、組織構造、グローバル展開を大幅に拡大し、業界のマーケットリーダーとしての地位を固めてきました。イノベーションの旅は続いており、2025年には、油圧ショベルの生産性と効率をさらに高めるように設計されたいくつかの新製品を発売する予定です。

まず、XTR20 に続いて、スチールリスト チルトローテーターの第 3 世代として、XTR15 と XTR23 という 2 つの新しいモデルが登場します。これらの新しいモデルには、OptiLube(オプティループ) や LockSense(ロックセンス) など、XTR20 の発売時に発表されたすべての機能が搭載されています。すべてのモデルに共通するのは、S から SQ に簡単にアップグレードできることです。

第二に、スチールリスト は SQ40 カブラを導入し、6 トン未満の油圧ショベルに SQ テクノロジーを拡



張します。SQ40 は、ミニ油圧ショベル用の大流量ワークツールを迅速かつ簡単に交換できるようにし、より大きな SQ カプラ サイズと同じ効率と利便性を提供します。SQ40 には、このインターフェース用に特別に最適化されたさまざまな電動ワークツールが付属します。さらに、新しいカプラの革新的な設計により、すべての S40 製品を SQ タイプにアップグレードすることができ、汎用性とパフォーマンスが向上します。

すべての新製品は、2025 年 4 月 7 日から 13 日までミュンヘンで開催される Bauma 展示会の スチールリストブースで展示されます。

「私は、スチールリストが設立されて以来、私たちのチームが成し遂げてきたことを非常に誇りに思っており、20 周年記念は 2025 年を通じて強調されるでしょう。私自身、自分の油圧ショベルで1年以上SQ40サイズを運用しており、ミニショベルにも新たなレベルの効率をもたらすSQ40ソリューションを発表することを本当に楽しみにしています」と、SteelwristのCEO兼共同創設者であるステファン・ストックハウスは述べています。

[スチールリストの歴史のタイムラインを見るには、このリンクをクリックしてください。](#)

詳細については、以下の連絡先までお問い合わせください:

ステファン・シュトックハウス
最高経営責任者(CEO)
Steelwrist AB
stefan.stockhaus@steelwrist.com
Tel +46 709981321

カール・ゼルネベルク
OEMセールス&マーケティング担当副社長
SteelwristAB
karl.serneberg@steelwrist.com
電話: +46 702619811

Steelwristについて

Steelwristは、スウェーデンに本社を置く油圧ショベル用チルトローテータ、クイックカプラ、ワークツールのグローバルメーカーです。堅牢で最新の製品にしっかりと焦点を当て、迅速なサービスを提供することで、世界中のますます多くのお客様に高く評価されています。Steelwristの詳細については、steelwrist.com をご覧ください。